

8月31日差し替え版 大学番号：私171

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

名古屋芸術大学 芸術学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人名古屋自由学院
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務課

職名・氏名 課長・奥田 ^{オクダ} ^{ハルト} 治人

電話番号 0568-24-0325

（夜間） 0568-24-0325

F A X 0568-24-0326

e-mail kyoumuka@nua.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人名古屋自由学院

(2) 大学名

名古屋芸術大学

(3) 大学の位置

〒481-8503

愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地（東キャンパス及び本部）

〒481-8535

愛知県北名古屋市徳重西沼65番地（西キャンパス）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カワムラ ダイスケ) 川村 大介 (平成22年4月)		
学長	(タケモト ヨシアキ) 竹本 義明 (平成28年4月)		
学部長	(ハギハラ マコト) 萩原 周 (平成29年4月)		
学科長等	(ムラカミ マサヒロ) 村上 正裕 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
芸術学部 芸術学科 学士(芸術)	音楽関係 美術関係	4年	445人	3年次 35人	1850人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	445 (35) [-]	-	()	()	()	()	()	()	0.81倍	
志願者数	540 (-) [-]	-	()	()	()	()	()	()		
受験者数	532 (-) [-]	-	()	()	()	()	()	()		
合格者数	498 (-) [-]	-	()	()	()	()	()	()		
B 入学者数	361 (-) [-]	-	()	()	()	()	()	()		
入学定員超過率 B/A	0.81									

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	361 [-] (-)	- [-] (-)							
2年次	/								
3年次									
4年次									
計			361 [-] (-)						

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	361 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		
合 計	361 人	0 人					

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<芸術学部 芸術学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学総合共通科目 一般科目群	大学生になる	1前	1			7 6	1 4	1 1			5 1	教育課程充実のためのクラス増に伴う担当教員追加 (29)
	ボランティア	1後		2							兼 1	
	アートと数・図形	1後		2				1			兼 1	
	日本語表現	1後	1				4	2			兼 1	8 教育課程充実のためのクラス増に伴う担当教員追加 (29)
	現代芸術と文化	1前 1後		2			2				兼 1	学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)
	民俗学	1前後 2前後		2			1				兼 1	学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)
	子育てとアートの人類学	1前後		2				1			兼 1	兼任講師辞退のため (29)
	感覚の生物学	1前後		2				1				
	哲学	1前後		2			1				兼 1	教育上の効果を向上させるため担当教員を追加 (29)
	倫理学	1前後 1後		2			1				兼 1	授業運営上の都合により担当教員数を変更 (29)
	歴史と人間	1前後 1前		2							兼 1	学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)
	文学	1前後		2			1				兼 1	学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)
	異文化入門	1前後		2			1	2				
	自分を知る心理学	1前後		2				1			兼 1	准教授の辞任、兼任講師辞退のため担当教員を変更 (29)
	社会と平和	1前後		2							兼 1	
	日本国憲法	1前後		2							兼 1	2 教育上の効果を向上させるため担当教員を追加 (29)
	自然と物理	1前後		2							兼 1	
	環境・社会と科学	1前後		2				1			兼 1	
	健康と体力	1前後		2			1 2				兼 1	教授辞任のため担当教員を変更 (29)
	健康スポーツ	1前後		2			1 2				兼 1	3 教授辞任、兼任教員就任に伴う変更 (29)
	インターンシップ	2後		2			1					
	知的所有権	2後		2							兼 1	
	情報メディア演習 I	1前後	2						1		兼 1	
	情報メディア演習 II	2前後		2					1		兼 1	
	キャリア1	1前後 1前		2			1 1				兼 1	教授辞任に伴う担当教員の変更 学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)
	キャリア2	2前後		2			1				兼 1	教授辞任、兼任教員就任に伴う変更 (29)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学総合共通科目	一般科目群	英語1	1前 1前後	1			1	1				兼 2 教育上の効果を向上させるため担当教員を追加 学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)		
		英語2	1後 1前後	1			1	1				兼 2 教育上の効果を向上させるため担当教員を追加 学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)		
		英語3	1後 1前後		1		1	1				兼 2 授業運営上の都合により担当教員数を変更 (29)		
		コミュニケーション英語1	1前 1前後	1			1		1			兼 2 教育上の効果を向上させるため担当教員を追加 学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)		
		コミュニケーション英語2	1後 1前後	1			1		1			兼 1 学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)		
		コミュニケーション英語3	1前後		1		1		1			兼 1 授業運営上の都合により担当教員数を変更 (29)		
		フランス語Ⅰ	1前後 1後		1			1					学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)	
		フランス語Ⅱ	1前後		1			1					学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)	
		フランス語Ⅲ	2後		1			1						
		ドイツ語Ⅰ	1前後 1後		1			1					学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)	
		ドイツ語Ⅱ	1前後		1			1					学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)	
		ドイツ語Ⅲ	2後		1			1						
		イタリア語Ⅰ	1前後		1			1						
		イタリア語Ⅱ	1前後		1			1						
		イタリア語Ⅲ	2前後		1			1						
		中国語Ⅰ	1前後 1後		1								兼 2 兼任講師辞退のため (29)	
		中国語Ⅱ	1前後 1前後		1								兼 1 学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)	
		中国語Ⅲ	2後		1								兼 1	
		横断科目群	音楽の世界	1前 1後		2		10 1	2					教育課程充実のためのクラス増に伴う担当教員追加 (29)
			西洋音楽史各論	1後 1前		2		1						学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)
ポップスミュージックシーン	2前後			2							兼 1			
ロックミュージックシーン	2前後			2							兼 1			
ジャズ概論	3後			2							兼 1			
舞台芸術概論	1前後			2		1								
美術文化各論1	1前 1後			2		1						学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)		
美術文化各論2	1後 1前			2		1						学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)		
美術文化各論3	2後		2		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学総合共通科目 横断科目群	美術文化各論4	2後		2		1						
	美学	1後		2							兼 1	
	美術解剖学	2前		2							兼 1	
	エコロジーとバリアフリー	1前後 1後		2							兼 1	学生への教育効果を考え、開講時期を変更(29)
	認知科学	1前後 未開講		2							兼 1	学生への教育効果を考え、開講時期を変更(29) 授業運営上の都合により未開講
	デザインと文化1	1前		2			1	1				平成29年度から職位変更
	デザインと文化2	1後 1前		2			2 1	1				学生への教育効果を考え、開講時期を変更(29)
	デザインと文化3	2後		2		2						
	デザインと文化4	2後		2		2						
	ソーシャルデザイン論	3後		2			1	1				平成29年度から職位変更(29)
	児童文学論	1後		2							兼 1	
	総合的な学習	1後		2							兼 1	
	教育の思想と歴史	1前		2							兼 1	
	子どもの発達と芸術	1後		2							兼 3	オムニバス
	生活と福祉	1後		2							兼 1	
	学校と福祉	1後		2							兼 1	
	人類生存のための教養	1前 1前後 1前		2		1	2					オムニバス
	文化史	1前後 1前		2		1						学生への教育効果を考え、開講時期を変更(29)
	国際社会論	2前		2							兼 1	
	論理的思考	2後		2							兼 1	
	情報リテラシー1	1後		2							兼 1	
	情報リテラシー2	2後 1後 1前		2							兼 1	学生への教育効果を考え、開講時期を変更(29)
	教養と現代1	1前 未開講		1		1						授業運営上の都合により未開講
	教養と現代2	1後		1		1						(29)
	英語リテラシー1	2前		2			1					
	英語リテラシー2	2後		2				1				
	日本語リテラシー1	1後		2							兼 1	
	日本語リテラシー2	2前 1後 1前		2		1						学生への教育効果を考え、開講時期を変更(29)
	アート・プロジェクト1	1前		2		2						
	アート・プロジェクト2	1前		2			2 3	1				准教授の辞任のため(29)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
<small>共通科目 科目群</small> <small>専門科目</small>	アート・プロジェクト3	未開講 1前		2			1	1				授業運営上の都合により未開講 (29)
	図学1	1前		2			1					兼任講師の辞退に伴う担当教員 の変更 (29)
	技術史	1前		2								兼 1
	情報技術論	1前		2								兼 1
	宗教文化論	1前		2		1						
	比較表現論	1前		2								兼 1 集中
	版画実技1	1前		2		1	1					兼 5 教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加・変更 (29)
	書道アート1	1前		2								兼 1
	彫刻	1前		2			2					
	立体造形	1後 1前		2								兼 1 学生への教育効果を考え、開講 時期を変更 (29)
	海外研修	1前		2		1						
	エンターテインメントディレクション特殊研究	1前		2		1						兼 1 教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加 (29)
	ミュージカル論1	1前		2		1						
	副科実技A-1	1前		1		14	3					兼 16 授業運営上の都合により担当教 員数を変更 (29)
	建築史	1前 1後		2		1						兼 1 兼任講師の辞退に伴う担当教員 の変更 学生への教育効果を考え、開講 時期を変更 (29)
	図学2	1後		2				1				兼 1 授業運営上の都合により担当教 員数を変更 (29)
	芸術療法	1後		2								兼 1
	近現代芸術論	1後		2								兼 1
	デザイン史	1後		2		1						
	絵画論	1後		2		1						
	書道アート2	1後 1前		2								兼 1
	工芸史	1後 1後		2								兼 1 学生への教育効果を考え、開講 時期を変更 (29)
	ミュージカル論2	1後		2		1						兼 16 授業運営上の都合により担当教 員数を変更 (29)
	副科実技A-2	1後		1		14	3					兼 25 員数を変更 (29)
	色彩学	1前後		2								兼 1
	絵画	1前後		2		1	1	1				兼 2 教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加 (29)
	彫刻論	1前 1前後		2								兼 1 集中
	日本美術史	1前後		2								兼 1
	東洋美術史	1前後		2								兼 1

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
専 門 科 目	西洋美術史	1前後		2								兼 1	学生への教育効果を考え、開講 時期を変更 (29)		
	近代美術史	1前後		2								兼 1			
	造形論	1前後		2										兼 1	
	副科実技B-1	2前		1		16 14	1 3							兼 25	
	副科実技B-2	2後		1		16 14	1 3							兼 25	
	工芸理論	2前		2										兼 1	
	映像とメディア (絵画)	2前		1		1									
	芸術学	2前		2		1									
	絵画演習	2前		4		1	2								
	デザイン教育演習	2前		4										兼 1	
	デザイン理論	2後		2				1	1						平成29年度から職位変更 (29)
	現代デザイン論	2後		2		1									
	建築論	2後		2				1							
	映像とメディア (デザイン)	2後		1										兼 1	
	近現代彫刻論	2後		2										兼 1	
	文化社会学	2前		2		1									
	映像メディア表現 (デザイン)	2後		1										兼 1	
	写真論	2前後		2										兼 1	
	写真演習	2前後		2		1								兼 5	
	考古学	2前後		2										兼 1	
	演劇・パフォーマンス論	2前後		2										兼 1	
	工芸教育演習	2前後		4										兼 1	
	芸術文化論	2前後		2										兼 1	
	シナリオ研究	2前後		2										兼 1	
	コミュニティ論	2前		2										兼 1	
	マーケティング	2前		2										兼 1	
	サブカルチャー論	3前		2		1									
映像論	3前		2									兼 1			
視覚デザイン論 I	3前		2									兼 1			
古美術研修	3前		2		1										

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	文化と経済	3前		2							兼 1	
	社会情報論	3前		2							兼 1	
	社会調査法	3前		2							兼 1	
	メディア論	3前		2			1					
	映像演習	3後		2							兼 2	
	図像学	3後		2		1						
	マンガ表現	3後		2							兼 1	
	生涯学習概論	2後		2							兼 1	
	博物館概論	1前		2		1						
	博物館経営論	2後		2		1						
	博物館資料論	2前		2							兼 1	
	博物館資料保存論	2後		2							兼 1	
	博物館展示論	2後		2							兼 1	
	博物館教育論	3後		2							兼 1	
	博物館情報・メディア論	3前		2		1						
	博物館実習Ⅰ	3後		2							兼 1	
	博物館実習Ⅱ	4後		1		1						
	現代美術演習	3前後		2							兼 1	
	芸術計画演習	3前		2		1						
	考古学演習	2後		2							兼 1	
領 域 共 通	芸術 教 養	ビジュアルリテラシー1	1前	2							兼 1	
		ビジュアルリテラシー2	1後	2							兼 1	
		サウンドリテラシー1	1前	2							兼 1	
		サウンドリテラシー2	1後	2							兼 1	
		視覚文化	1前	2		1						
		異文化体験	1前	2				1				
		サウンド文化	1後	2							兼 1	
		地域文化論	2前	2							兼 1	
		芸術教養レビュー1	2前	1		1	1					
		プロジェクト1	2前	2		1						
プロジェクト2	2後	2		1								

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専門科目	芸術 教養	教養と地域文化1	2前	1			1					
		教養と地域文化2	2前	1			1					
		教養文化と職業1	2後	1			1					
		教養文化と職業2	2後	1			1					
		情報と芸術	2後	2			1					
	領域共通 音楽	音楽芸術基礎研究	1前 未開講	2			7 4	3				兼 4 教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加 (29) 授業運営上の都合により未開講
		マーチング実習1	1前	1								兼 1 (29)
		劇場機構基礎演習	1前	2								兼 1
		音楽療法概論	1前	2				1				
		アートマネジメント概論	1前後 1前	2			1					兼 1 教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加 学生への教育効果を考え、開講 時期を変更 (29)
		マルチメディアコンテンツ1	1前	1								兼 1
		マルチメディアコンテンツ2	1後	1								兼 1
		録音音響デザイン研究1	1前	4				1				兼 1 教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加 (29)
		録音音響デザイン研究2	1後	4				1				兼 1 教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加 (29)
		アートマネジメント英語1-1	1前	2								兼 1
		アートマネジメント英語1-2	1後	2								兼 1
		ノートリーディング I	1前	2								兼 1
		ノートリーディング II	1後 1後	2								兼 1 学生への教育効果を考え、開講 時期を変更 (29)
		音楽ケアデザイン各論1	1前	2				1				
		音楽ケアデザイン各論2	1前	2			1					
		音楽ケアデザイン各論3	1前 未開講	2				1				兼 1 授業運営上の都合により未開講 (29)
		臨床医学1	1前 未開講	2								兼 1 授業運営上の都合により未開講 (29)
		臨床医学2	1後	2								兼 1 (29)
		室内楽基礎1	1前	1			5 3	1				兼 1 教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加 (29)
		室内楽基礎2	1後	1			5 3	1				兼 1 教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加 (29)
	室内楽 I-1	1前	1			4 3	4				兼 2 教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加 (29)	
室内楽 I-2	1後	1			4 3	4				兼 2 教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加 (29)		
合奏 I-1	1前	1			6 3	4				兼 4 教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加 (29)		
合奏 I-2	1後	1			6 3	4				兼 4 教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加 (29)		
演奏実習 I-1	1前	1			2 14	3				兼 26 1 授業運営上の都合により担当教 員数を変更 (29)		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	領 域 共 通 音 楽	演奏実習 I-2	1後	1		2 44	3				1 26	授業運営上の都合により担当教員数を変更 (29)
		舞踊表現・バレエ1	1前	1							兼 1	
		舞踊表現・バレエ2	1後	1							兼 1	
		ダンス実技 I-1	1前	1							兼 1	
		ダンス実技 I-2	1後	1							兼 1	
		和声学 I-1	1前	2			2 4				兼 4	2 教育上の効果を向上させるため 4 担当教員を追加 (29)
		和声学 I-2	1後	2			2 4				兼 4	2 教育上の効果を向上させるため 4 担当教員を追加 (29)
		ソルフェージュ実習 I-1	1前	1			1				兼 4	3 教育上の効果を向上させるため 4 担当教員を追加 (29)
		ソルフェージュ実習 I-2	1後	1			1				兼 4	3 教育上の効果を向上させるため 4 担当教員を追加 (29)
		ピアノ I-1	1前	1			6	1			兼 7	10 教育上の効果を向上させるため 7 担当教員を追加 (29)
		ピアノ I-2	1後	1			6	1			兼 7	10 教育上の効果を向上させるため 7 担当教員を追加 (29)
		声楽実習 I-1	1前	1			2 3				兼 3	8 教育上の効果を向上させるため 3 担当教員を追加 (29)
		声楽実習 I-2	1後	1			2 3				兼 3	8 教育上の効果を向上させるため 3 担当教員を追加 (29)
		合唱1-1	1前	1							兼 4	2 教育上の効果を向上させるため 4 担当教員を追加 (29)
		合唱1-2	1後	1							兼 4	2 教育上の効果を向上させるため 4 担当教員を追加 (29)
		西洋音楽史概論	1前 1後	2			1				兼 2	学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)
		音楽通論	1前後	2			1				兼 2	1 兼任講師の辞退に伴う担当教員の変更 (29)
		邦楽 (歌唱)	1前後	1							兼 1	
		邦楽 (和楽器)	1前後	1							兼 1	
		民族音楽研究	1前後	2			1				兼 3	3 教育上の効果を向上させるため
		サウンドメディア基礎演習	1通	4			1 3				兼 2	2 担当教員を追加 (29)
		ステージマネジメント I	1通	8			4				兼 3	3 教育上の効果を向上させるため 2 担当教員を追加 (29)
		音楽ケアデザインワークショップ1	1通 未開講	4				1				授業運営上の都合により未開講 (29)
		音楽ケアデザインワークショップ2	1通 未開講	4				1				授業運営上の都合により未開講 (29)
		音楽ケアデザインワークショップ3	1通 未開講	4			1					授業運営上の都合により未開講 (29)
		音楽表現実技 I	1通	8			16 44	3			兼 27	58 教育上の効果を向上させるため 27 担当教員を追加 (29)
		総合音楽実技1	1通	8			16 44	3			兼 27	58 教育上の効果を向上させるため 27 担当教員を追加 (29)
		障害児教育	2前	2							兼 1	
		マーチング実習2	2前	1							兼 1	
		音楽と教育	2前	2			2					
器楽基礎研究1	2前	1			3	4				授業運営上の都合により担当教員数を変更 (29)		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
	音楽心理学	2前		2		1							
	社会福祉概論	2前		2							兼 1		
	発達心理学	2前		2			1						
	スコアリーディング演習	2前		2		1							
	ショービジネス	2前		2		1							
	音楽制作基礎演習1	2前		2							兼 1		
	音楽制作基礎演習2	2後		2							兼 1		
	録音音響デザイン実習 I-1	2前		2			1						
	録音音響デザイン実習 I-2	2後		2			1						
	アートマネジメント英語2-1	2前		2							兼 1		
	アートマネジメント英語2-2	2後		2							兼 1		
	ステージコミュニケーション1	2前		2		1							
	ステージコミュニケーション2	2後		2							兼 1		
	トータルステージインフォメーション	2前		2							兼 1		
専 門 科 目	領 域 共 通 音 楽	臨床心理1	2前	2							兼 1		
		臨床心理2	2後	2							兼 1		
		合唱2-1	2前	1								兼 1	
		合唱2-2	2後	1								兼 1	
		初見奏法1	2前	1			1						
		初見奏法2	2後	1			1						
		チェンバロ奏法1	2前	1								兼 1	
		チェンバロ奏法2	2後	1								兼 1	
		伴奏法 I-1	2前	1								兼 1	
		伴奏法 I-2	2後	1								兼 1	
		ピアノ重奏法1	2前	1			1						
		ピアノ重奏法2	2後	1			1						
		室内楽 II-1	2前	1			3	4					平成29年度から職位変更 (29)
		室内楽 II-2	2後	1			3	4					平成29年度から職位変更 (29)
		合奏 II-1	2前	1			3	4				兼 1	平成29年度から職位変更 (29)
		合奏 II-2	2後	1			3	4				兼 1	平成29年度から職位変更 (29)
		ポップス・ロック論1	2前	2			1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	領 域 共 通	ポップス・ロック論2	2後	2		1						
						16	1					
		演奏実習Ⅱ-1	2前	1			44	3			兼 27	平成29年度から職位変更 (29)
						16	1					
		演奏実習Ⅱ-2	2後	1			44	3			兼 27	平成29年度から職位変更 (29)
		アクティングⅠ-1	2前	1							兼 1	
		アクティングⅠ-2	2後	1							兼 1	
		ダンス実技Ⅱ-1	2前	1							兼 1	
		ダンス実技Ⅱ-2	2後	1							兼 1	
		和声学Ⅱ-1	2前	2			2					
		和声学Ⅱ-2	2後	2			2					
		ソルフェージュ実習Ⅱ-1	2前	1			1				兼 1	
		ソルフェージュ実習Ⅱ-2	2後	1			1				兼 1	
		ピアノⅡ-1	2前	1			6	1			兼 7	
		ピアノⅡ-2	2後	1			6	1			兼 7	
							2				4	
		音楽 声楽実習Ⅱ-1	2前	1			3				兼 3	教授辞任に伴う変更 (29)
					2				4			
声楽実習Ⅱ-2	2後	1			3				兼 3	教授辞任に伴う変更 (29)		
スコアリーダーイングⅠ	2前	2			1							
スコアリーダーイングⅡ	2後	2			1							
器楽合奏Ⅰ	2前	1			1	4				平成29年度から職位変更 (29)		
器楽合奏Ⅱ	2後	1			1	4				平成29年度から職位変更 (29)		
マルチメディアアート (音と映像の融合) 1	2後	1							兼 1			
					3							
器楽基礎研究2	2後	1			2	4				平成29年度から職位変更 (29)		
ショービジネス研究	2後	2			1							
日本音楽研究	2前後	2			1							
音楽情報処理入門	2前後	2							兼 1			
サウンドメディア応用演習Ⅰ	2通	4			1				兼 2			
ステージマネジメントⅡ	2通	8			2				兼 2			
					16	1						
音楽表現実技Ⅱ	2通	8			44	3			兼 27	平成29年度から職位変更 (29)		
					16	1						
総合音楽実技2	2通	8			44	3			兼 27	平成29年度から職位変更 (29)		
美 術	クロッキー	1前	2			2					教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加 (29)	
						4						
	洋画技法	1前	2			6						
	日本画実技Ⅰ-1	1前	4			1				兼 1		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専 門 科 目	領 域 共 通 美 術	日本画実技 I-2		4			1				兼 1		
		日本画実技 I-3		4			1				兼 1		
		日本画実技 I-4		4			1				兼 1		
		洋画実技 I-1		4			2				兼 4	3 授業運営上の都合により担当教員数を変更 (29)	
		洋画実技 I-2		4			2				兼 4	3 授業運営上の都合により担当教員数を変更 (29)	
		洋画実技 I-3		4			2				兼 4		
		洋画実技 I-4		4			2				兼 4		
		美術実技 I-1 (ドローイング/アイデアとエスキース)		1前	2			1	1				
		美術実技 I-2 (クリエイター研究/ポートフォリオ制作演習)		1後	2			1	1				
		デッサン I		1前	2				1			兼 2	1 授業運営上の都合により担当教員数を変更 (29)
		デッサン II		1後	2			1	4			兼 1	授業運営上の都合により担当教員数を変更 (29)
		近現代日本画表現1		1前	2			1					
		近現代日本画表現2		1後	2			1					
		メディア表現1		1前	2							兼 1	
		メディア表現2		1後	2							兼 1	
		陶芸技法1		1前	2							兼 1	
		陶芸技法2		1後	2							兼 1	
		ガラス技法1		1前	2							兼 1	
		ガラス技法2		1後	2							兼 1	
		絵画素描演習		1後	2			1					
		ドローイング		1後	2			1					
		版画実技2		1後	2							兼 5	5 授業運営上の都合により担当教員数を変更 (29)
		美術研修		1後	2			1					集中
		美術実技 I-3 (日本画)		1前後	2				1				学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)
		美術実技 I-4 (油彩)		1前後	2							兼 4	4 教育上の効果を向上させるため担当教員を追加 (29)
		美術実技 I-5 (彫塑/マケット)		1前後	2			2					
		美術実技 I-6 (陶芸)		1前後	2							兼 1	
		美術実技 I-7 (ガラス)		1前後	2							兼 1	
		美術実技 I-8 (プリント&ソーイング)		1前後	2							兼 1	
		美術演習 I-1 (美術文化1)		1前後	2			1					
美術演習 I-2 (美術文化2)		1後	2							兼 1	学生への教育効果を考え、開講時期を変更 (29)		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	領 域 共 通 美 術	石彫技法	1後 1前後	2							兼 1	学生への教育効果を考え、開講 時期を変更 (29)
		木彫技法	1前後	2		1						
		ワークショップ演習	2前	2				1				
		プロジェクト演習	2前	2		1						
		美術実技Ⅱ-1	2前	2		1					兼 3	
		美術実技Ⅱ-2	2前	2				1			兼 2	
		美術実技Ⅱ-3	2前	2		2					兼 2	
		美術実技Ⅱ-4	2前	2		1					兼 3	
		美術実技Ⅱ-5	2後	2		2		1			兼 2	
		美術実技Ⅱ-6	2後	2							兼 1	
		美術実技Ⅱ-7	2後	2							兼 3	
		美術実技Ⅱ-8	2後	2							兼 2	
		美術実技Ⅱ-9	2後	2		1		1			兼 1	
		デザイン実技1	2前	2							兼 1	
		デザイン実技2	2前	2							兼 1	
		デザイン実技3	2後	2							兼 1	
		デザイン実技4	2後	2							兼 1	
		美術演習Ⅱ-1	2隔週通年	2		1						
		美術演習Ⅱ-2	2前	2		1						
		美術演習Ⅱ-3	2後	2		1						
		美術演習Ⅱ-4	2前	2							兼 1	
		美術文化演習Ⅰ-1	2前	2		1						
		美術文化演習Ⅰ-2	2後	2		1						
		日本画実技Ⅱ-1	2前	8							兼 3	
		日本画実技Ⅱ-2	2後	8							兼 2	
		洋画実技Ⅱ-1	2前	8		1					兼 5	
		洋画実技Ⅱ-2	2後	8		1					兼 5	
		美術史研究Ⅰ	2後	2							兼 1	
		鋳造技法	2後	2		1						
		金属加工技法	2後	2							兼 1	
絵画技法材料論1	2前後	2		1								

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
専 門 科 目	美 術	絵画技法材料論2	2後	2		1								
		テラコッタ技法	2前後	2							兼 1			
		版画史	2後	2							兼 1			
		乾漆技法	2通	2							兼 1			
	領 域 共 通	デ ザ イ ン	デザイン概論	1前	2			1	2				授業運営上の都合により担当教員を変更 (29)	
			文学史	1前	2		1		4	1			2 授業運営上の都合により担当教員を変更 (29)	
			デザイン実技 I-1	1前	2		1	1	2	3		兼 3	3 授業運営上の都合により担当教員を変更 (29)	
			デザイン実技 I-2	1前	2		4	1	1	1		兼 2	3 授業運営上の都合により担当教員を変更 (29)	
			デザイン実技 I-3	1後	2		3	2	2			兼 3	3 授業運営上の都合により担当教員を変更 (29)	
			デザイン実技 I-3	1後	2		2	1	1			兼 4	4 授業運営上の都合により担当教員を変更 (29)	
			デザイン実技 I-4	1後	2		2	2	2			兼 4	4 授業運営上の都合により担当教員を変更 (29)	
			デザイン基礎演習A	1前	2		1							
			デザイン基礎演習B	1前	2		1							
			デザイン基礎演習C	1前	2		4		1					教授の辞任に伴う担当教員の変更 (29)
			デザイン基礎演習D	1後	2		1					兼 1	兼任講師の辞任に伴う担当教員の変更 (29)	
			デザイン基礎演習E	1後	2		4	1						教授の辞任に伴う担当教員の変更 (29)
			デザイン基礎演習F	1後	2		1							授業運営上の都合により未開講 (29)
			レビュー I	1後	2		11	7	2					授業運営上の都合により担当教員を変更 (29)
			レビュー II	2後	2		10	6	4				兼 1	平成29年度から職位変更 (29)
			文芸実技 I-1 (小説創作)	1前	2		1							
			文芸実技 I-2 (絵本・児童文学創作)	1前	2		1							
			文芸実技 I-3 (キャッチコピー創作)	1前	2		1							
			文芸実技 I-4 (小説創作)	1後	2		1							
			文芸実技 I-5 (絵本・児童文学創作)	1後	2		1							
	文芸実技 I-6 (キャッチコピー創作)	1後	2		1									
	雑誌編集法	1後	2								兼 1			
	コンピュータ表現基礎	1前後	2								兼 4			
デザイン演習 I	2前	2		1	3	1				兼 4				
観察学・考現学	2前	2								兼 1				
デザインワークショップ	2前	2				1								
印刷論	2前	2				1								

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	領 域 共 通	材料学	2前	2		1						
		工芸制作	2前	2							兼 3	
		染織技法材料	2前	2		1						
		工芸技法材料	2前	2							兼 1	
		デザイン実技Ⅱ-1	2前	2		6	2	4			兼 1	専任講師辞任に伴う変更 (29)
		デザイン実技Ⅱ-2	2前	2		1		3			兼 9	
		デザイン実技Ⅱ-3	2後	2		2	2	4			兼 5	平成29年度から職位変更 (29)
		デザイン実技Ⅱ-4	2後	2		3	1	1			兼 6	
		製品企画論A	2前	2		1						
		製品企画論B	2後	2							兼 1	
	デ ザ イ ン	建築企画論1-a (法規)	2後	1							兼 1	
		建築企画論1-b (生産)	2後	1							兼 1	
		文芸実技Ⅱ-1 (小説創作)	2前	2		1						
		文芸実技Ⅱ-2 (戯曲創作)	2前	2		1						
		文芸実技Ⅱ-3 (小説創作)	2後	2		1						
		文芸実技Ⅱ-4 (日本語プレゼン)	2後	2				4			兼 1	准教授辞任に伴う変更 (29)
		文芸演習Ⅰ-1 (西欧特殊文化)	2前	2		1						
		文芸演習Ⅰ-2 (英語プレゼン)	2後	2		1						
		金属技法材料	2後	2				1				
		セラミック技法材料	2後	2							兼 1	
デザインインターンシップ	2前後	2		1								
領 域 展 開	芸術と科学	3前	2							兼 1		
	テキスト文化	3前	2		1							
	芸術と社会	3前	2							兼 1		
	芸術の記号論	3前	2		1							
	現代文化と思想	3前	2							兼 1		
	身体と言葉の表現	3前	2							兼 1		
	セミナー1	3前	2				1				教授辞任、兼任教員就任に伴う	
	芸術教養レビュー2	3前	1			2				兼 1	変更 (29)	
	インターメディア表現	3後	2							兼 1		
	英語プレゼンテーション	3後	2		1							

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
専 門 科 目	ムービー制作	3後		2							兼 1		
	ビジュアルプログラミング	3後		2							兼 1		
	セミナー2	3後		2				+			兼 1	准教授辞任に伴う変更 (29)	
	セミナー3	4前		2		1	1						
	マルチメディアアート (音と映像の融合) 2	3前		1								兼 1	
	医学概論	3前		2								兼 1	
	介護概論	3前		2								兼 1	
	音楽療法1	3前		2				1					
	マーチング実習3	3前		1								兼 1	
	ピアノ応用実習 I	3前		1		2						兼 3	
	ジャズ・ポップス論	3前		2		1							
	器楽応用研究1	3前		1		+		+					平成29年度から職位変更 (29)
	指揮法演習	3前		2								兼 1	
	20世紀音楽と電子メディア	3前		2								兼 1	
	楽式論	3前		2		1							
	ピアノ応用実習 II (伴奏法を含む)	3前		1		2						兼 3	
	オーケストレーション演習1	3前		2		1							
	オーケストレーション演習2	3後		2		1							
	音楽制作実習 I-1	3前		1		2						兼 1	
	音楽制作実習 I-2	3後		1		2						兼 1	
	コンポジション I-1	3前		2		1							
	コンポジション I-2	3後		2		1							
	録音音響デザイン実習 II-1	3前		2				1					
	録音音響デザイン実習 II-2	3後		2				1					
	施設実習1	3前		2		1							
	施設実習2	3後		2		1							
	オペラ研究 I-1	3前		2		1							
	オペラ研究 I-2	3後		2		1							
	声優技術基礎実習 1	3前		1								兼 1	
	声優技術基礎実習2	3後		1								兼 1	
伴奏法 II-1	3前		1				1						

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	伴奏法Ⅱ-2	3後		1			1					
	ピアノ演奏解釈1	3前		1		1						
	ピアノ演奏解釈2	3後		1		1						
	合奏Ⅲ-1	3前		1		4 3	1				兼 1	平成29年度から職位変更 (29)
	合奏Ⅲ-2	3後		1		4 3	1				兼 1	平成29年度から職位変更 (29)
	室内楽Ⅲ-1	3前		1		4 3	1					平成29年度から職位変更 (29)
	室内楽Ⅲ-2	3後		1		4 3	1					平成29年度から職位変更 (29)
	パフォーマンス論1	3前		2		1						
	パフォーマンス論2	3後		2		1						
	アクティングⅡ-1	3前		1		1						
	アクティングⅡ-2	3後		1		1						
	演奏実習Ⅲ-1	3前		1							兼 1	
	演奏実習Ⅲ-2	3後		1							兼 1	
	ダンス実技Ⅲ-1	3前		1							兼 1	
	ダンス実技Ⅲ-2	3後		1							兼 1	
	作曲法実習Ⅰ	3前		1		1					兼 1	
	作曲法実習Ⅱ	3後		1		1					兼 1	
	和声学Ⅲ-1	3前		2		1						
	和声学Ⅲ-2	3後		2		1						
	ソルフェージュ実習Ⅲ-1	3前		1		1						
	ソルフェージュ実習Ⅲ-2	3後		1		1						
	声楽歌唱法	3前後		2		2						
	劇場と舞台	3後		2		1						
	ジャズダンス研究	3後		2							兼 1	
	楽曲分析	3後		2		1						
	対位法	3後		2		1						
編曲法演習	3後		2		1							
サウンドメディア応用演習Ⅱ	3通		4							兼 2		
ステージマネジメントⅢ	3通		8		1					兼 2		
音楽ケアデザイン1	3通		4			1						
音楽療法2	3通		4			1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
専 門 科 目	音楽表現実技Ⅲ	3通		8		16 44	1 3				兼 25	平成29年度から職位変更 (29)	
	総合音楽実技3	3通		8		16 44	1 3				兼 27		
	劇場機構応用演習	4前		2							兼 1		
	マーチング実習4	4前		1							兼 1		
	器楽応用研究2	4前		1		2 4		4					平成29年度から職位変更 (29)
	コンポジションⅡ-1	4前		2			1						
	コンポジションⅡ-2	4後		2			1						
	録音音響デザイン実習Ⅲ-1	4前		2				1					
	録音音響デザイン実習Ⅲ-2	4後		2				1					
	施設実習3	4前		2			1						
	施設実習4	4後		2			1						
	オペラ研究Ⅱ-1	4前		2			1				兼 1		
	オペラ研究Ⅱ-2	4後		2			1				兼 1		
	キーボードハーモニー1	4前		1			1						
	キーボードハーモニー2	4後		1			1						
	合奏Ⅳ-1	4前		1			4 3		4		兼 1		平成29年度から職位変更 (29)
	合奏Ⅳ-2	4後		1			4 3		4		兼 1		平成29年度から職位変更 (29)
	室内楽Ⅳ-1	4前		1			4 3		4				平成29年度から職位変更 (29)
	室内楽Ⅳ-2	4後		1			4 3		4				平成29年度から職位変更 (29)
	アクティングⅢ-1	4前		1							兼 1		
	アクティングⅢ-2	4後		1							兼 1		
	演奏実習Ⅳ-1	4前		1							兼 1		
	演奏実習Ⅳ-2	4後		1							兼 1		
	ダンス実技Ⅳ-1	4前		1							兼 1		
	ダンス実技Ⅳ-2	4後		1							兼 1		
	音楽制作実習Ⅱ-1	4前		1			2				兼 1		
	音楽制作実習Ⅱ-2	4後		1			2				兼 1		
	サウンドメディアプロジェクト	4通		4							兼 1		
	ステージマネジメントⅣ	4通		4			1				兼 2		
	音楽ケアデザイン2	4通		4					1				
音楽療法3	4通		4					1					

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専 門 科 目	領 域 展 開	音楽表現実技Ⅳ	4通	8		16 44	1 3					兼 25 平成29年度から職位変更 (29)	
		総合音楽実技4	4通	8		16 44	1 3					兼 27 平成29年度から職位変更 (29)	
		美術史研究Ⅱ	3前	2			2						兼 1 3
		美術実技Ⅲ-1	3前	2			3						兼 2 教授辞任に伴う変更 (29)
		美術実技Ⅲ-2	3前	2			2	1					兼 2
		美術実技Ⅲ-3	3前	2			2	1					兼 2
		美術実技Ⅲ-4	3前	2			1	1					兼 3
		美術実技Ⅲ-5	3後	2			1						兼 3
		美術実技Ⅲ-6	3後	2			1 3						兼 3
		美術実技Ⅲ-7	3後	2			4						兼 1 教授辞任に伴う変更 (29)
		美術実技Ⅲ-8	3後	2			1	1					兼 1
		美術実技Ⅲ-9	3後	2			1	1					
		美術演習Ⅲ-1	3前	2									兼 1
		美術演習Ⅲ-2	3後	2									兼 1
		美術演習Ⅲ-3	3前	2			1						兼 1
		美術演習Ⅲ-4	3後	2			1						兼 1
		美術演習Ⅲ-5	3後	2				1					兼 1
		美術演習Ⅲ-6	3後	2									兼 1
		美術演習Ⅲ-7	3後	2			1						
		美術文化演習Ⅱ-1	3前	2			1						
		美術文化演習Ⅱ-2	3後	2			1 2						兼任講師の教授就任に伴う変 更 (29)
		日本画実技Ⅲ-1	3前	8			4						兼 1 兼任講師の教授就任に伴う変 更 (29)
		日本画実技Ⅲ-2	3後	8			1	1					兼 2 兼任講師の教授就任に伴う変 更 (29)
		洋画実技Ⅲ-1	3前	8			1						兼 5
		洋画実技Ⅲ-2	3後	8			1						兼 6
		学外演習Ⅰ (インターンシップとワークショップ)	3通	2			2	1					2
美術実技Ⅳ-1	4前	2			2 1						兼 1 教授辞任に伴う変更 (29)		
美術実技Ⅳ-2	4前	2			2						兼 1 教授辞任に伴う変更 (29)		
美術実技Ⅳ-3	4前	2			1						兼 2		
美術実技Ⅳ-4	4前	4			1	1					兼 2		
美術実技Ⅳ-5	4前	2			1	1							

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	領 域 展 開	美術文化演習Ⅲ-1	4前	2		1						
		美術文化演習Ⅲ-2	4後	2		1						
		日本画実技Ⅳ-1	4前	8			2					兼 1 教授辞任に伴う変更 (29)
		洋画実技Ⅳ-1	4前	8			2					兼 2
		美術実技Ⅳ-6	4通	4			1	1				兼 2
		学外演習Ⅱ (インターンシップとワークショップ)	4通	2			2	1				
		デジタルサウンド	3前	2								兼 2
		広告表現論	3前	2						1		兼 1 専任講師辞任に伴う変更 (29)
		建築企画論2	3前	2								兼 1
		エルゴノミクス論	3前	2								兼 1
		デザイン実技Ⅲ-1	3前	2			4	4	2			兼 1 平成29年度から職位変更 (29) 9
		デザイン実技Ⅲ-2	3前	2			2		1			兼 8 専任講師辞任に伴う変更 (29)
		デザイン実技Ⅲ-3	3後	2			3	2	1			兼 2 8
		デザイン実技Ⅲ-4	3後	2			1	1	2			兼 7 専任講師辞任に伴う変更 (29)
		デザイン演習Ⅱ-1	3前	2			3	2	1			兼 3
		文芸実技Ⅲ-1 (小説創作)	3前	2								兼 1
		文芸実技Ⅲ-2 (戯曲創作)	3前	2								兼 1
		文芸演習Ⅱ-1 (恋愛心理学)	3前	2					1			兼 1 准教授辞任に伴う変更 (29)
		デザイン演習Ⅱ-2	3後	2			6		2			兼 1 専任講師辞任に伴う変更 (29)
		レビューⅢ	3後	2			10	6	4			兼 1 平成29年度から職位変更 (29)
		インテリア設計論	3後	2								兼 1
		環境設計論	3後	2								兼 1
		建築構造学	3後	2								兼 1
		照明演習	3後	2								兼 1
		デザインプロデュース	3後	2					1	1		平成29年度から職位変更 (29)
		文芸実技Ⅲ-3 (小説創作)	3後	2			1					
文芸実技Ⅲ-4 (俳句創作)	3後	2								兼 1		
文芸演習Ⅱ-2 (絵本・児童文学創作)	3後	2					1			7		
デザイン実技Ⅳ	4前	4			6	5	4			兼 6 平成29年度から職位変更 (29)		
文芸実技Ⅳ	4前	4			1	1						
視覚デザイン論Ⅱ	4後	2					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	卒業研究（音楽）	4後		4		13	2 3				兼 1	平成29年度から職位変更（29）
	卒業制作（美術）	4通		6		3					28	
	卒業制作（美術・デザイン）	4後		8		16 18	8 7	2 4			兼 25	平成29年度から職位変更（29）
	卒業研究（芸術教養）	4後		4		1	2					
資格関連	教職論	1前 1前後			2	1						学生への教育効果を考え、開講時期を変更（29） 教育上の効果を向上させるため担当教員を追加
	教育原論	1前 1前後			2						兼 1	2 学生への教育効果を考え、開講時期を変更（29） 4 准教授の辞任に伴う担当教員の変更（29）
	学習心理学	1前後 1後			2		1				兼 2	学生への教育効果を考え、開講時期を変更（29）
	教育制度論	1前後			2	1						教職課程設置への対応のため担当教員を変更
	教育課程論	1後 1前後			2		1				兼 1	学生への教育効果を考え、開講時期を変更（29）
	音楽科指導法1	3前後			2						兼 1	
	音楽科指導法2	3前後			2						兼 1	
	音楽科指導法3	3前後			2	1						
	音楽科指導法4	3前後			2						兼 1	
	美術科・工芸科指導法1	2前後			2	1						
	美術科・工芸科指導法2	2前後			2	1						
	美術科指導法1	2前後			2	1						
	美術科指導法2	2前後			2	1						
	特別活動論	1前後			2						兼 1	
	道徳教育指導論	1前後			2						兼 1	
	教育方法論	1前後			2		1				兼 1	教職課程設置への対応のため担当教員を変更（29）
	生徒・進路指導論	1前後			2						兼 1	
	教育相談	1前後			2		1				兼 1	准教授辞任に伴う変更（29） 教育上の効果を向上させるため
	教育実習Ⅰ	4前			1	1					兼 1	担当教員を追加（29）
	教育実習Ⅱ	4後			2	1					兼 1	教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加（29）
教育実習Ⅲ	4後			2	1					兼 1	教育上の効果を向上させるため 担当教員を追加（29）	
教職実践演習（中・高）	4後			2	2					兼 1		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	571	22	600	7	571	22	600	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	デザインと文化1	2	1前	一般	選択	授業運営上の都合により未開講 (29)
2	教養と現代2	1	1後	一般	選択	授業運営上の都合により未開講 (29)
3	アート・プロジェクト3	2	1前	一般	選択	授業運営上の都合により未開講 (29)
4	マーケティング実習1	1	1前	専門	選択	授業運営上の都合により未開講 (29)
5	臨床医学1	2	1前	専門	選択	授業運営上の都合により未開講 (29)
6	臨床医学2	2	1後	専門	選択	授業運営上の都合により未開講 (29)
7	音楽ケアデザインワークショップ2	4	1通	専門	選択	授業運営上の都合により未開講 (29)
8	音楽ケアデザインワークショップ3	4	1通	専門	選択	授業運営上の都合により未開講 (29)
9	デザイン基礎演習F	2	1後	専門	選択	授業運営上の都合により未開講 (29)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については選択科目であり、学生は4年の間、どの学年でも履修可能な科目であるため、来年度には開講予定であることから学生の不利益にはならないものとする。学生へは、授業時間割表によって周知を図っている。(29)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{9}{600} = \boxed{1.5} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	53,923.20 m ²	0 m ²	0 m ²	53,923.20 m ²				
	運動場用地	7,286.24 m ²	0 m ²	0 m ²	7,286.24 m ²				
	小 計	61,209.44 m ²	0 m ²	0 m ²	61,209.44 m ²				
	そ の 他	15,082.96 m ²	0 m ²	0 m ²	15,082.96 m ²				
	合 計	76,292.40 m ²	0 m ²	0 m ²	76,292.40 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	65,809.81 m ² (65,809.81 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	65,809.81 m ² (65,809.81 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	56 室	50 室	198 室	8 室 (補助職員 2人)	2 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	芸術学部 芸術学科		80 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	芸術学部	294,082 [65,212] (260,200 [60,931])	1,188 [157] (1,228 [187])	12 [12] (11 [11])	38,494 (36,678)	— (—)	— (—)		
	計	294,082 [65,212] (260,200 [60,931])	1,188 [157] (1,228 [187])	12 [12] (11 [11])	38,494 (36,678)	— (—)	— (—)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	2,719 m ²		318 席	195,000 冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
	1,944.54 m ²		テニスコート 7面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究費の配分を見直し、個人研究費を減額し共同研究費を設けることで、研究の充実を図った。(29) 図書購入費を増額し、充実を図った。(29)
		教員1人当たり研究費等	25 160千円	25 160千円	図書購入費	18,900 19,500千円	10,500 4,875千円	10,500 19,500千円	
		共同研究費等	5,950 —千円	5,950 —千円	設備購入費	67,000千円	16,750千円	67,000千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,621千円	1,421千円	1,421千円	1,421千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資金運用収入、雑収入、等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	名古屋芸術大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
《AC対象学部等》 芸術学部 芸術学科	4	445	3年次 35	445	学士 (芸術)	0.81	平成29年度	愛知県北名古屋市熊之庄古井281	
人間発達学部 子ども発達学科	4	140	3年次 10	580	学士 (教育学)	0.6	平成19年度	愛知県北名古屋市熊之庄古井281	
大学 の 名 称	〇 〇 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (29年4月)	・人間発達学部子ども発達学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	人間発達学部子ども発達学科の過去4年の入学者は、平成26年度100名、27年度100名、28年度70名、29年度77名で推移しており、入学定員140名を充足していない。芸術学部芸術学科の設置に伴い、全学総合共通科目が見直され、人間発達学部学生が芸術系科目を履修可能となり平成29年度は、前年度と比して10%の改善があった。芸術大学の中の人間発達学部であることをPRし学生募集の向上を図る。(29)	人間発達学部子ども発達学科の開設年度（平成19年度）以降、平成25年度までの平均入学者数は141名であり、入学定員を充足していたが、平成26年度から減少傾向にあり、定員充足ができていない。そのため、平成28年5月に「人間発達学部改編委員会」、平成29年3月に「入試プロジェクト会議」を設置して、人間発達学部の改組転換計画を検討しており、平成31年度の教職課程の再課程認定と同時に実施する予定としている。(29)
	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	留意事項	届出時において完成年次（平成32年度）に定年規程に定める退職年齢を超える専任教員は、14名であり、専任教員数（80名）の17.5%である。芸術系実技科目の継続性を考慮して、一部の教員は、定年年齢を超えて継続雇用することがあるが、完成年次以降、退職年齢（70歳）を超える専任教員については段階的に割合を下げ解消する計画である。(29)	該当なし(29)
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<芸術学部 芸術学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 施設・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演習室 2 室 (61㎡・64㎡) ・ 演習・実技室 (56㎡) ・ 保管室 (34㎡) 	<p>① 学生のよりよい学修環境を整備するため、演習室 2 室及び演習・実技室として 1 室を整備した。</p> <p>教育研究環境整備のため、教材・資料保管室 1 室を整備した。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成29年4月より、「FD・SD推進センター委員会」規程を定め、教員及び事務職員を対象とし大学教育の質の向上に取り組む。構成員はセンター長(学部教務主任)をはじめ、副学長・芸術学部長・人間発達学部長、芸術学科長及び子ども発達学科長、事務職員からは、学務部長及び東西キャンパス教務課長を配置している。</p> <p>本学において従来のFD活動は、教員による授業参観の実施や、学生による「授業アンケート」を実施していた。SD活動としては、「職員研修実施運営委員会」構成し、法人事務局を含めた全事務職員を対象に「実務研修」「職場内研修」などを企画し研修を実施している。</p> <p>今年度からは、これまで実施してきた教員による活動と事務職員が活動してきた内容を深化させ、教職協働による活動を実施し、教育の維持向上を目指す。</p> <p>また、「大学等経営協議会」の下に平成28(2016)年12月に設置された「人事・賃金制度改革プロジェクトチーム」において、教員評価、職員評価の制度設計が進められており平成30年4月から導入することとしている。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>月1回程度を定例開催とし、活動内容を具体化する。その他、必要に応じて開催する。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間活動の計画 ・ 予算管理 ・ 活動計画の実施 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員・職員による授業参観及び意見交換 ・ 授業方法の研究会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観を実施し、優秀な点及び改善点について意見交換を実施する。 ・ 学生が授業科目の内容を十分に理解することができる授業の展開について情報交換する。 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期・後期中に1回以上の授業参観を実施する。 ・ 研究会については、随時実施する。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善には随時取り組み、状況については年度末に報告書として冊子を作成する。 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p>
--

- a 実施の有無及び実施時期
 - ・毎年、後期に1回実施している。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・アンケート結果については、各科目の担当教員に配付しフィードバックを求めている。
 - ・全体的なアンケート結果は、冊子を作成し教職員及び学生に公開している。また、本学HP上に公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

新設の芸術学部芸術学科の目的は、音楽領域、美術領域、デザイン領域及び芸術教養領域における知識・能力を有する人材を養成するとともに、他者との協働に必要な言語力や論理的思考力、グローバル社会で必要とされる語学力等を有し、芸術を媒介としながら、主体的に社会へ参画していく能力を有する人材を養成する事である。平成29年度においては、言語系科目・初年次教育科目の必修化及び従来の音楽・美術・デザインの縦割りの教育課程から、横断的な教育課程となり、所属する領域以外の授業科目の履修が促進される等の一定の効果を上げている。(29)

② 自己点検・評価報告書

- a 公表(予定)時期
 - ・平成29年6月30日 公開予定
- b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書を刊行し、図書館に設置予定。
 - ・大学ホームページ上に公開予定(平成29年6月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関(日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく学内で準備作業中。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成29年9月29日予定)